

## キャリアコンサルタント試験の出題範囲とキャリアコンサルタント養成講習カリキュラムの対応表

キャリアコンサルタントの試験科目は法律により5科目が定められています。これに対し、キャリアコンサルタント試験受要件を満たす講習として厚生労働大臣が認定する講習の科目は4科目となっています。両者の対応は下表のとおりとなります。

キャリアコンサルタント試験		キャリアコンサルタント養成講習カリキュラム	
科目	範囲	科目	範囲
1 キャリアコンサルティングの社会的意義	1. 社会・経済的な動向並びにキャリア形成支援の必要性の理解 2. キャリアコンサルティングの役割の理解 3. キャリアコンサルティングを担う者の活動範囲と義務	1 キャリアコンサルティングの社会的意義	1. 社会及び経済的な動向並びにキャリア形成支援の必要性の理解 2. キャリアコンサルティングの役割の理解 3. キャリアコンサルタントの活動
2 キャリアコンサルティングの理論	1. キャリアに関連する理論 2. カウンセリングに関連する理論 3. 自己理解の知識 4. 仕事の知識 5. ライフステージおよび発達課題の知識 6. 人生の転機の知識 7. 相談者の典型的・個人的特性に関する理解	2 キャリアコンサルティングを行うために必要な知識	1. キャリアに関連する理論 2. カウンセリングに関連する理論 3. 自己理解の知識 4. 仕事の知識 5. 職業能力の開発の知識 6. 人事管理及び労務管理の知識 7. 労働市場等の知識 8. 労働関係法令及び社会保障制度等の知識 9. 学校教育制度及びキャリア教育の知識 10. メンタルヘルスの知識 11. ライフステージ及び発達課題の知識 12. 人生の転機の知識 13. 個人の特性の知識
3 職業能力開発促進法 その他関係法令	1. 職業能力の開発の知識 2. 人事管理及び労務管理の知識 3. 労働市場等の知識 4. 労働関係法令及び社会保障制度の知識 5. 学校教育制度及びキャリア教育の知識 6. メンタルヘルスの知識		
4 キャリアコンサルティングの実務	1. 基本的な技能・知識 1) カウンセリングの技能・知識 2) グループアプローチの技能の知識 3) キャリアシートの作成指導及び活用の技能・知識 4) 相談過程全体の進行の管理に関する技能・知識 2. 相談実施過程において必要な技能・知識 1) 相談場面の設定 2) 自己理解の支援 3) 仕事理解の支援 4) 自己啓発の支援 5) 意思決定の支援 6) 方策の実行の支援 7) 新たな仕事への適応の支援 8) 相談過程の総括	3 キャリアコンサルティングを行うために必要な技能	1. 基本的な技能 1) カウンセリングの技能 2) グループアプローチの技能 3) キャリアシート（法第十五条の四第一項に規定する職務経歴等記録書を含む。）の作成指導及び活用の技能 4) 相談過程全体の進行の管理に関する技能 2. 相談過程において必要な技能 1) 相談場面の設定 2) 自己理解の支援 3) 仕事の理解の支援 4) 自己啓発の支援 5) 意思決定の支援 6) 方策の実行の支援 7) 新たな仕事への適応の支援 8) 相談過程の総括
5 キャリアコンサルタントの倫理と行動	1. キャリア形成及びキャリアコンサルティングに関する教育並びに普及活動 2. 環境への働きかけの認識及び実践 3. ネットワークの認識と実践 1) ネットワークの必要性の認識 2) ネットワークの形成 3) 専門機関への紹介 4) 情報収集及び異なる分野の専門家への照会 4. 自己研鑽及びキャリアコンサルティングに関する指導を受ける必要性の認識 5. キャリアコンサルタントとしての姿勢	4 キャリアコンサルタントの倫理と行動	1. キャリア形成及びキャリアコンサルティングに関する教育並びに普及活動 2. 環境への働きかけの認識及び実践 3. ネットワークの認識及び実践 1) ネットワークの重要性の認識 2) ネットワークの形成 3) 専門機関への紹介 4) キャリアコンサルティングと異なる分野の専門家への照会 4. 自己研鑽及びキャリアコンサルティングに関する指導を受ける必要性の認識 5. キャリアコンサルタントとしての姿勢
		その他キャリアコンサルティングに関する科目	